

じゃがいもフェスタ99

財団法人
いも類振興会

川又 章



展示
パネル

◎サッポロファクトリー煙突広場で開催

平成11年10月9日(土)、前日降っていた雨もあがり、秋晴れのもと、午前10時から、午後5時まで、札幌市中央区北2条東4丁目のサッポロファクトリー煙突広場においてじゃがいもフェスタ99が開催されました。

このイベントは、一般の消費者を対象に、パネル展示、試食、加工食品メーカーの出展、チャリティを通じて、じゃがいもの消費拡大を図ることを目的として実施されたものです。

会場となったサッポロファクトリー煙突広場は、JR札幌駅南東方向徒歩約10分のところに位置しています。

ここは、明治9年に、開拓使により創設された日本で最初のビール工場である開拓使麦酒醸造所が民間に払い下げられ、札幌麦酒、

大日本麦酒を経て、サッポロビールの札幌第1工場として平成元年まで稼動していたところで、工場移転に伴い、跡地の再開発によって平成5年に完成した一大ショッピングセンターの中にあります。周辺には、ホテルや140もの店舗があり、終日大勢の人でにぎわっております。

フェスティバルは、開会の後、琢磨委員長(北海道農政部農産園芸課長)の代理として、山崎副委員長(ホクレン農業協同組合連合会園芸部長)の挨拶、来賓の一之瀬農林水産省農産園芸局畑作振興課農産園芸専門官の挨拶に引続き、テープカットが行なわれました。

会場には、ステージの他、展示、クイズラリー、試食、チャリティいも詰の各コーナーのテント及び、出展の加工食品会社(ホクレン、カルビー、サンマルコ、ケンコーマヨネーズ、パイオニアフーズ)のテントが並んでおりました。

◎クイズラリーで楽しむ

クイズラリーは、用紙に印刷された5つの質問の解答を番号で記入し、かつ、煙突広場と近くの4ヵ所のうちから3ヵ所のスタンプを押せば、クジを引くことができ(ガラガラと回すと色々の玉が出てくるもの)、当選者には、1等じゃがいも10kg(10本)、2等同じく5kg(30本)、3等同じく1kg(60本)が贈られ、会場のあちこちに、クイズで贈られたじゃがいもの箱を抱えた人々が見受けられました。

クイズラリーの質問は次のようなものです。

1. 北海道のじゃがいもの収穫量が全国の収穫量に占める割合はいくらか。(約8割)
2. 北海道でじゃがいもを植える時期は、いつ頃か。(桜の咲く頃、4月下旬～5月上旬)
3. ドイツでは、ビタミンCの摂取量の何割をじゃがいもから摂っているか。(約5割)
4. じゃがいものご飯を比べるとじゃがいもの方がビタミンの種類や含有量は多いが、カロリーは約半分である。(○)
5. メークインの花の色は何色か。(紫色)

これらの質問の解答は、展示のパネルを見れば、判るようになっていきます。

また第5問のメークインの花の色は、品種の写真を見れば、紫色であることが判ります。

チャリティいも詰めコーナーは、1人100円の寄附で、袋一杯のじゃがいもが貰えます。袋から転げ落ちる程詰め込む人もおり、何回も100円を寄附している人もおり、チャリティーは11時30分、14時、16時の3回行なわれ、JA士幌、JA芽室、JA羊蹄産のホッカイコガネ、メークイン、男爵の3品種、各1トン計3トンのじゃがいもが用意されましたが、夕方までには、全量がなくなっていました。

チャリティの寄附金は、イベントの最後に山崎副委員長より北海道共同募金会の代表に贈呈されましたが、後日の報告によれば、7万円近い金額が集まったとのことでした。

じゃがいも試食は、12時30分、15時の2回、近くの給食センターで調理された塩ゆでじゃがいもが1回につき130人分が配布され、各回とも時間前から長蛇の列ができておりました。湯気の立ついもを受取った人々は、用意されたテーブルで北の大地の味を楽しんでおりました。

◎じゃがいも博士のクイズ大会

じゃがいも博士のクイズ大会では、北海道立農業試験場で三十数年じゃがいもの研究に携さわり、現在は、ホクレンの主任技師をされている浅間和夫さんをじゃがいも博士として行われました。

まずは、○×クイズで決勝戦を行う5人が選ばれましたが、○×クイズの質問は、次のようなものでした。

1. じゃがいもの栄養は、皮にある。(○)
2. リアルポテトチップの原料は、国産である。(○)
3. じゃがいもは、ナス科である。(○)
4. じゃがいもは、アルカリ食品である。(○)
5. じゃがいもの原産地は、インドネシアである。(×) (正解 南米)
6. じゃがいもの花を見るには、13:00～15:00時がよい。(×) (正解 朝)

これら6問で4人が決まり、あとの1人は8人のジャンケンにより選ばれ、5人が揃いました。

この5人の中で、誰が優勝するか予想する投票も行なわれました。正解者には、じゃがいも5kgが贈られることになっています。

決勝戦に進出した5人は、30歳代と60歳代



▲チャリティいも詰め

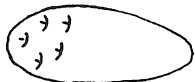


▲じゃがいも博士のクイズ大会

の女性、70歳代のおじいさん、小学4年生の女生徒2人でした。

決勝戦3択クイズの質問は、次のようなものでした。

1. メークインをフレンチフライにしない理由 (甘すぎて、褐変する)
2. じゃがいもの栄養素のうちご飯より少ないもの (ビタミンE)
3. じゃがいもの貯蔵適温 (3～5℃)
4. メークインの芽の分布



5. じゃがいものくぼみは捨てた方がよいか。捨てなくてもよいか。(捨てる必要なし)

これら5問のうち3問正解が3人おり、ジャンケンで小学4年生の女の子が優勝者と決まり、また優勝者を当てる投票では、優勝した女の子の友人唯一人が正解でした。

いも展示コーナーでは、男爵、メークイン、トヨシロ、農林1号、コナフブキ、マチルダ、ノースチップ、キタアカリ、紅丸の9品種の花の写真に、その品種の特徴の説明文つきパネルと、いもの現物、その加工品が展示されておりました。

その他じゃがいもについての情報提供としてのパネルには、次の5枚がありました。

1. じゃがいもの生産地と生産量
2. じゃがいものできるまで
3. 主要国のじゃがいもの消費量
4. じゃがいもの栄養分
5. じゃがいもを使ったメニュー

そして、これらのパネルの説明の中に、スタンプラリークイズの答が判る仕組みになっておりました。

◎豊富なじゃがいも料理メニュー

じゃがいもを使ったメニューは、小林カツ代さんによるもので、じゃがいもの牛肉巻き(じゃがいも、人参を棒状に切ったものを、牛肉で巻き、フライパンを使い、ごま油で焼いてから、砂糖、醤油等で煮からめたもの)、メークインの明太子炒め(スライスしたメークイン、玉ねぎに、みじん切りしたにんにくをフライパンで炒め、これに明太子を加えて、更に炒めたもの)、かあさんオムレツ(じゃがいもの1cm角切、みじん切りにした玉ねぎ、ひき肉を炒め、みりん、醤油で味つけしたものを中に入れたオムレツ)の3品が写真と共に、その材料、作り方が紹介されていました。

このほか、じゃがいも20品種の写真「たかがばれいしょ、されどじゃがいも」のパネルもありました。

配布用資料としては、次の3種が用意されておりました。

1. 今、じゃがいも、玉ねぎがおいしい。

小林カツ代さんのもので、パネルで紹介されたじゃがいもの牛肉巻き、メークインの明太子炒め、かあさんオムレツの他玉ねぎ料理

3品が写真入りで紹介されております。

2. 北海道じゃがいも品種のプロフィール

男爵、メイクインをはじめ、新しいところでは、さやか、花標津（はなしべつ）など15品種の特徴と適した料理法が紹介されております。

3. じゃがいもMini白書

最新版で、ノースチップ、カラフルポテト3兄弟として、インカのめざめ、インカレッド、インカパープルの写真が加わっております。

加工食品メーカーの出展コーナーでは、パイオニアフーズ、ケンコーマヨネーズ、サンマルコ、カルビー、ホクレンの5社が夫々、自慢の製品を展示、試食、販売しておりました。各社の出品は次のようなものです。

1. パイオニアフーズ

コロッケ（コーン及び牛肉、60g、10ケ入 300円）、ナチュラルカット、フレンチフライポテト（1kg）、ポテトフライ（1kg）

2. ケンコーマヨネーズ

角切りポテトサラダ、レストランポテトサラダ、ポテトサラダ、ジャキジャキポテト、ジャーマンポテト

3. サンマルコ

チーズフォンデュサンド、コロッケ、男爵

ドッグ（揚げも）、コロッケ（冷凍品：男爵、牛肉、カレー、コーン、バター、野菜の6種、各60g、5ケ入、180円）、ひとくちコロッケ

4. カルビー

じゃがりこ、アラ・ポテト（粒こしょう）、ポテトチップス（コンソメパンチ）

5. ホクレン

土幌町（減農薬栽培）

フレンチポテト、ナチュラルカットポテト、シューストリングポテト

芽室町（減農薬栽培）

ポテトコロッケ（牛肉、プレーン、野菜）、プチ揚げいも

一方ショッピングセンター、アトリウムのレストランでは、ホクレン支援のもとに、秋の味覚まつりの特別メニューとして、いろいろのじゃがいも料理を用意しておりました。すなわち、

和食レストランでは、変り芋もち（150円）、男しゃく揚げ（500円）、

寿司屋 じゃが巻（じゃがいもサラダを手巻きするもの 200円）

インド料理店 チキンポテトカレー（1,200円）、ポテトクルチャ（ポテト入りナン 600円）

ビヤホール ポテトのチーズ焼き（730円）、ジャーマンポテト（650円）などがありました。

☆

盛り沢山の内容のフェスティバルも、午後5時前、チャリティの寄附金が山崎副委員長から共同募金会へ贈呈されて閉会となりましたが、1,000人以上の参加があり、盛会で関係者もほっとした様子でした。



▲じゃがいも試食会